

人は前を向いて生きていく

山口仁史 令和七年十月十二日

人は前を向いて生きていく

動き 進み 空いた腹を満たし 英気を養い 明日をむかえる

人は失って生きていく

自信を 希望を 大切な人を 財産を
その苦しみが転生のきっかけとなる

人は楽しんで生きていく

好きなことに夢中になる瞬間 家族や仲間とのかけがえのない時間
笑顔や喜びが体をつたう たまには涙も伴って

人は無になって生きていく

体をのばし 脈をととのえ 脳を浄化し 肉体を清める

人は迷って生きていく うねりさまよう人影とすれ違いながら

答えにたどり着くまでの日々が愛おしく思える時が きつと来る

人は選んで生きていく

右か左か 前進か後退か 今かその次か
その道が人をつくる

ふり返れば もうひとりの自分がいることに気づきながら

人は成長しながら生きていく いくつになっても

明日は未知の世界 いっだって挑戦者 肉体を整える

人は前を向いて生きていく

俯（うつむ）かず 背筋を伸ばし 希望の光が見えることを信じて